



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名 JFEホールディングス株式会社
 コード番号 5411 URL <http://www.jfe-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬田 一
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部広報室長 (氏名) 高橋 学
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月5日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東 大 名

TEL 03-3597-3842

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,307,005	△1.6	20,100	△68.5	22,838	△61.5	21,911	—
24年3月期第3四半期	2,344,897	△0.3	63,843	△58.4	59,309	△58.1	△37,258	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 23,390百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △44,611百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	39.83	—
24年3月期第3四半期	△70.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,156,092	1,524,328	35.4
24年3月期	4,007,263	1,456,340	35.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 1,471,693百万円 24年3月期 1,414,256百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,170,000	0.1	40,000	△10.7	45,000	△15.1	35,000	—	62.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	614,438,399 株	24年3月期	614,438,399 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	37,613,289 株	24年3月期	76,213,077 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	550,065,670 株	24年3月期3Q	531,617,090 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載することとしております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) 企業結合等に関する注記	9
4. 参考資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要等はあるものの、海外経済の減速、円高の継続により、引き続き厳しい状況で推移しました。このような状況のもと、セグメント別の業績は以下のとおりとなりました。

鉄鋼事業におきましては、販売価格の下落等により、売上高は1兆8,684億円と前年同四半期連結累計期間に比べ1,724億円(8.4%)の減収となりました。損益につきましては収益改善に継続的に取り組んだものの、原料市況下落による棚卸資産評価差等の影響により、経常利益は23億円となり、前年同四半期連結累計期間に比べ403億円の減益となりました。

エンジニアリング事業におきましては、売上高は1,758億円と前年同四半期連結累計期間に比べ69億円(4.0%)の増収となりました。損益につきましては、コスト削減等の収益改善に努め、93億円の経常利益を計上し、前年同四半期連結累計期間に比べ47億円の増益となりました。

造船事業におきましては、売上高は1,398億円と、前年同四半期連結累計期間に比べ284億円(16.9%)の減収となりました。損益につきましては、引き続き収益改善に取り組んだものの、受注工事損失引当金の増加により、前年同四半期連結累計期間に比べ33億円の減益となる80億円の経常利益となりました。

当第3四半期連結会計期間から報告セグメントとして新設いたしました商社事業におきましては、売上高は3,872億円となりました。損益につきましては37億円の経常利益となりました。なお、商社事業は第3四半期連結会計期間から連結されているため、当第3四半期の3ヶ月間の数値となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の売上高は前年同四半期連結累計期間に比べ、378億円の減収となる2兆3,070億円となりました。営業利益は201億円、経常利益は228億円となり、前年同四半期連結累計期間に比べそれぞれ437億円、365億円の減益となりました。

また、特別損益は231億円の利益となり、前年同四半期連結累計期間に比べ1,515億円の好転となりました。これは、主に前年同四半期連結累計期間において成長戦略の一環として投資している海外案件につき、株式市況の低迷に伴って投資有価証券評価損を計上したこと等によるものです。

これらにより、税金等調整前四半期純利益は459億円、四半期純利益は219億円となり、前年同四半期連結累計期間に比べ、それぞれ1,150億円、591億円の好転となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

通期のセグメント別の業績は以下のとおりに見込んでおります。

鉄鋼事業におきましては、世界経済は引き続き低迷しており、アジア地域での鉄鋼の需給ギャップも依然として継続しています。国内経済についても、足下で行き過ぎた円高水準は見直されつつありますが、引き続き不透明な状況にあります。このような環境のもと、徹底的なコスト削減への取り組みや輸出市場の開拓等により収益確保に努めておりますが、原料市況下落による棚卸資産評価差等の影響もあり、年間の経常利益は前回を下回る100億円を見込んでおります。

エンジニアリング事業におきましては、引き続きコスト削減等による収益拡大に取り組み、年間の経常利益は前回見通しを上回る160億円となる見通しです。

商社事業におきましては、建築を中心とした国内需要の捕捉や中近東等の遠隔地向け取引の拡大に取り組んでおりますが、海外マーケットの市況下落により、海外鋼材加工センターの収益は悪化する見込みであり、また、石炭価格の下落を受け石炭投資子会社の業績も低迷していることなどから、下期の経常利益は前回見通しを下回る70億円となる見通しです。

以上より、通期のグループ全体の売上高は3兆1,700億円、営業利益は400億円、経常利益は450億円、当期純利益は350億円となる見通しです。

なお、当期の期末配当につきましては、現下の損益状況を踏まえ、1株につき15円（年間15円）とする案を株主総会にお諮りする方針とさせていただきます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は1,631百万円、経常利益および税金等調整前四半期純利益は1,636百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,382	65,088
受取手形及び売掛金	580,669	618,445
商品及び製品	259,934	307,876
仕掛品	49,295	65,140
原材料及び貯蔵品	405,649	392,929
その他	160,632	169,397
貸倒引当金	△306	△1,956
流動資産合計	1,506,257	1,616,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	426,493	430,204
機械装置及び運搬具（純額）	627,741	594,492
土地	517,944	543,694
その他（純額）	72,705	99,325
有形固定資産合計	1,644,884	1,667,716
無形固定資産	56,492	55,808
投資その他の資産		
投資有価証券	635,610	608,757
その他	168,805	214,762
貸倒引当金	△5,379	△8,146
投資その他の資産合計	799,036	815,373
固定資産合計	2,500,413	2,538,898
繰延資産	592	272
資産合計	4,007,263	4,156,092

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	337,643	377,873
短期借入金	173,385	279,157
コマーシャル・ペーパー	—	59,997
1年内償還予定の社債	69,999	40,000
1年内償還予定の新株予約権付社債	—	300,000
引当金	18,859	23,874
その他	334,453	307,029
流動負債合計	934,340	1,387,932
固定負債		
社債	285,000	275,000
新株予約権付社債	300,000	—
長期借入金	765,248	703,147
退職給付引当金	123,714	132,703
その他の引当金	80,042	79,197
その他	62,577	53,783
固定負債合計	1,616,581	1,243,831
負債合計	2,550,922	2,631,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	147,143	147,143
資本剰余金	647,121	647,121
利益剰余金	1,011,124	872,734
自己株式	△378,442	△183,008
株主資本合計	1,426,945	1,483,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,185	25,594
繰延ヘッジ損益	△1,780	78
土地再評価差額金	13,806	14,243
為替換算調整勘定	△55,900	△52,212
その他の包括利益累計額合計	△12,689	△12,296
少数株主持分	42,084	52,635
純資産合計	1,456,340	1,524,328
負債純資産合計	4,007,263	4,156,092

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	2,344,897	2,307,005
売上原価	2,102,324	2,097,619
売上総利益	242,572	209,385
販売費及び一般管理費	178,728	189,284
営業利益	63,843	20,100
営業外収益		
受取利息	252	443
受取配当金	7,272	6,829
その他	25,230	28,399
営業外収益合計	32,755	35,672
営業外費用		
支払利息	11,321	10,668
固定資産除売却損	7,334	6,605
その他	18,633	15,660
営業外費用合計	37,289	32,935
経常利益	59,309	22,838
特別利益		
商社事業会社完全子会社化関連損益	—	35,762
特別利益合計	—	35,762
特別損失		
減損損失	—	4,508
投資有価証券評価損	93,929	8,133
排出クレジット関連損失	7,479	—
災害による損失	11,381	—
退職給付制度改定損	15,699	—
特別損失合計	128,489	12,641
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△69,180	45,959
法人税等	△34,341	21,422
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△34,838	24,536
少数株主利益	2,419	2,625
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,258	21,911

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△34,838	24,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,266	△3,544
繰延ヘッジ損益	△1,154	1,865
土地再評価差額金	1,347	—
為替換算調整勘定	△3,042	761
持分法適用会社に対する持分相当額	△11,190	△228
その他の包括利益合計	△9,772	△1,145
四半期包括利益	△44,611	23,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△46,821	21,866
少数株主に係る四半期包括利益	2,210	1,523

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 企業結合等に関する注記

当第3四半期連結会計期間（自平成24年10月1日 至 平成24年12月31日）

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 JFE商事㈱

事業の内容 各種商品の国内取引および輸出入取引を主要業務とし、取扱品目は鉄鋼製品、鉄鋼原料、非鉄金属、化学品、機械、船舶等の分野

②企業結合を行った主な理由

JFE商事㈱が持つマーケティング関連機能のJFEグループ全体での活用ならびにJFEグループの鉄鋼サプライチェーン全体の強化・効率化を図ることを主たる目的としております。

③企業結合日

平成24年10月1日

④企業結合の法的形式

当社を株式交換完全親会社、JFE商事㈱を株式交換完全子会社とする株式交換

⑤取得した議決権比率

株式交換直前に間接所有していた議決権比率 39.4%

企業結合日に取得した議決権比率 60.6%

取得後の議決権比率 100.0%

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成24年10月1日から平成24年12月31日まで

(3) 被取得企業の取得原価及びその内訳

企業結合日に交付した当社の自己株式の時価 65,283百万円

取得に直接要した費用 34百万円

取得原価 65,318百万円

(4) 株式の種類別の交換比率及びその算定方法並びに交付した株式数

①株式の種類別の交換比率

JFE商事㈱の普通株式1株：当社の普通株式0.268株

②本株式交換に係る割当ての内容の算定根拠等

本株式交換における株式交換比率の算定について、その公正性・妥当性を担保するため、両社がそれぞれ別個に両社から独立した第三者算定機関に株式交換比率の算定を依頼することとし、当社は野村証券㈱を、JFE商事㈱はみずほ証券㈱を第三者機関としてそれぞれ選定いたしました。

野村証券㈱は、両社普通株式それぞれについて市場株価が存在していることから市場株価平均法による算定を行なうとともに、両社について類似会社比較法およびディスカунテッド・キャッシュ・フロー法（以下、「DCF法」）による算定を行ないました。

一方、みずほ証券㈱は、両社普通株式それぞれについて市場株価が存在していることから市場株価基準法による算定を行なうとともに、両社について類似上場会社比較法およびDCF法による算定を行ないました。

当社およびJFE商事(株)は、それぞれの第三者機関から提出を受けた株式交換比率の算定結果を参考に、かつ、当社およびJFE商事(株)の財務状況、業績動向、株価動向等を勘案のうえ、交渉・協議を重ねた結果、それぞれ上記に記載の株式交換比率は妥当であり、それぞれの株主の皆様の利益に資するものであるとの判断に至りました。

③交付した株式数

63,382,418株

(5) 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

段階取得に係る差損 21,279百万円

(6) 発生した負ののれんの金額、発生原因

①発生した負ののれん金額 57,042百万円

②発生原因

企業結合時の時価純資産額が取得原価を上回ったため。

4. 参考資料

①連結業績(平成24年度 第3四半期連結累計期間)

	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)			増減	増減率
	第3四半期 連結累計期間 (4~12月)	第2四半期 連結累計期間 (4~9月)	第3四半期 (10~12月)	第3四半期 連結累計期間 (4~12月)	第3四半期 連結累計期間 (4~12月)	第3四半期 連結累計期間 (4~12月)
	億円	億円	億円	億円	億円	%
売上高	23,448	14,546	8,523	23,070	△378	△1.6
鉄鋼事業	20,408	12,699	5,984	18,684	△1,724	△8.4
エンジニアリング事業	1,689	1,127	630	1,758	69	4.1
造船事業(注1)	1,682	923	474	1,398	△284	△16.9
LSI事業(注2)	165	48	-	48	△117	△70.9
商社事業(注3)	-	-	3,872	3,872	3,872	-
調整額	△497	△253	△2,438	△2,692	△2,195	-
営業利益	638	111	89	201	△437	△68.5
営業外損益	△45	△70	98	27	72	-
経常利益	593	40	187	228	△365	△61.5
鉄鋼事業	426	△30	53	23	△403	△94.6
エンジニアリング事業	46	47	46	93	47	102.2
造船事業(注1)	113	44	35	80	△33	△29.2
LSI事業(注2)	11	4	-	4	△7	△63.6
商社事業(注3)	-	-	37	37	37	-
調整額	△5	△24	14	△10	△5	-
特別損益	△1,284	△163	394	231	1,515	-
税金等調整前四半期純利益	△691	△122	582	459	1,150	-
税金費用・少数株主損益	319	137	△378	△240	△559	-
四半期純利益	△372	14	204	219	591	-

(注1)平成25年1月1日にて、当社の連結子会社であるユニバーサル造船(株)は(株)アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッドと合併し、持分法適用会社(社名:ジャパン マリンユナイテッド(株))となりました。

(注2)平成24年7月1日に、川崎マイクロエレクトロニクス(株)が発行するすべての株式を(株)メガチップスに譲渡しております。

(注3)平成24年10月1日にて、鉄鋼事業の持分法適用会社であったJFE商事(株)は、株式交換により当社の完全子会社となりました。これに伴い、平成24年度下期より「商社事業」として区分して表示しております。

②連結業績見通し

	平成24年度(2012年度)			【参考】 平成23年度 (2011年度)
	前回見通し (平成24年10月24日)	今回見通し (平成25年1月31日)	増減	
売上高	31,800	31,700	△100	31,665
鉄鋼事業	25,100	24,900	△200	27,144
エンジニアリング事業	2,900	2,800	△100	2,787
造船事業(注1)	1,200	1,398	198	2,146
LSI事業	48	48	0	214
商社事業	8,800	8,000	△800	-
調整額	△6,248	△5,446	802	△627
営業利益	550	400	△150	447
営業外損益	△100	50	150	81
経常利益	450	450	0	529
鉄鋼事業	150	100	△50	257
エンジニアリング事業	150	160	10	143
造船事業(注1)	60	80	20	122
LSI事業	4	4	0	15
商社事業	90	70	△20	-
調整額	△4	36	40	△9
特別損益	100	150	50	△1,248
税金等調整前当期純利益	550	600	50	△718
税金費用・少数株主損益	△200	△250	△50	352
当期純利益	350	350	0	△366

(注1) 1月以降のジャパン マリンユナイテッド㈱の持分法投資損益は調整額に含めております。

③連結財務指標

	平成24年度(2012年度)			平成23年度 (2011年度)
	前回見通し	今回見通し	増減	
ROS	1.4%	1.4%	0.0%	1.7%
ROA	1.4%	1.4%	0.0%	1.7%
借入金・社債等残高	16,500億円	16,000億円	△500億円	15,936億円
自己資本	14,600億円	14,800億円	200億円	14,142億円
D/Eレシオ	113.0%	108.1%	△4.9%	112.7%
〃 (格付ベース) ※	(84.6%)	(80.6%)	(△4.0%)	(83.5%)

※格付評価上の資本性を併せ持つ負債(3,000億円)について、格付機関による評価により、75%を資本と見なした場合のD/Eレシオ

(注) ROS : 経常利益 / 売上高
 ROA : (経常利益 + 支払利息) / 総資産
 D/Eレシオ: 借入金・社債等残高 / 自己資本

④ 粗鋼生産量 (JFEスチール)

(単位：万 t)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成23年度 (単独)	671	694	1,365	666	659	1,325	2,690
(連結)	722	746	1,468	734	721	1,455	2,924
平成24年度 (単独)	724	709	1,432	684	700程度	見込み 1,400程度	2,800程度
(連結)	792	776	1,568	752	750程度	1,500程度	3,100程度

⑤ 鋼材出荷量 (JFEスチール、単独ベース)

(単位：万 t)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成23年度	609	632	1,241	595	630	1,226	2,467
平成24年度	617	655	1,272	614	650程度	見込み 1,250程度	2,500程度

⑥ 鋼材輸出比率 (JFEスチール、単独・金額ベース)

(単位：%)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成23年度	49.4	44.4	46.9	40.2	46.0	43.0	45.0
平成24年度	48.5	50.5	49.5	48.1	54	見込み 51	50

⑦ 為替レート

(単位：円/ドル)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成23年度	82.0	78.4	80.2	77.5	78.3	77.9	79.1
平成24年度	80.8	78.7	79.7	79.8	87	見込み 83	82

⑧ 鋼材平均価格 (JFEスチール、単独ベース)

(単位：千円/t)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成23年度	82.4	85.6	84.0	84.1	76.2	80.1	82.0
平成24年度	75.7	70.1	72.8	68.7	70	見込み 69	71

⑨ エンジニアリング事業の受注状況 (セグメント間の取引を含む)

平成24年度受注見込み 3,200億円 (前年度比 △9.1%)

⑩ 造船事業の受注状況 (セグメント間の取引を含む)

平成24年度第3四半期累計期間受注実績 761億円 (前年同期比 △4.8%)

⑪ 借入金社債等残高および支払金利、現金及び預金残高 (JFEホールディングス、連結ベース、単位：億円)

	借入金社債等残高	支払金利	現金及び預金残高
	年度末	年度	
平成23年度 実績	15,936	△150	503
平成24年度 見通し	16,000	△140	500

⑫ 設備投資と減価償却費（JFEホールディングス、連結ベース、単位：億円）

	平成23年度 実績	平成24年度 見通し	
設備投資額	1,974	1,700程度	(工事ベース)
減価償却費	2,383	2,000程度	

⑬ 経常利益の増減内容 △ 79億円（529億円→450億円）（平成24年度通期見通し、対平成23年度実績比較）

a. 鉄鋼事業 △ 157億円（257億円→100億円）

(内容) 数量・販価・原料 ± 0

コスト削減 + 1,200

棚卸資産評価差等 △ 1,550

その他 + 193

b. エンジニアリング事業 + 17億円（143億円→160億円）

(内容) 引き続きコスト削減等による収益拡大に取り組み、前期に比べ増益となり160億円となる見込み。

c. 商社事業 + 70億円（- 億円→70億円）

(内容) 海外マーケットの市況下落により、海外鋼材加工センターの収益は悪化する見込みであり、また、石炭価格の下落を受け石炭投資会社の業績も低迷していることなどから、下期の経常利益は70億円となる見込み。

以 上